まちと人の想いが交わる情報交差点
広報こうさ
2026 February No.679

Kosa Style
こうさ スタイル

サッカークラブチーム「Son's甲佐」OB初のJリーガー。自身の武器である局面を打開するスピードで、積極的に前に攻めるプレーが持ち味。

一村 聖連さん
Seren Ichimura
〔仁田子区〕

追い続けてきた夢を実現へ Jリーグの舞台へと蹴り出す

「応援してくれている家族や友人のためにも、Jリーグで結果を挙げていきたい」と意気込みを語るのは、Jリークラブ「奈良クラブ」へ加入することが決まった一村聖連さん（仁田子区）。現在は、滋賀県のびわこ成蹊スポーツ大学で、持ち前のスピードを活かせる右サイドハーフとして活躍。2025年シーズンの関西学生サッカーリーグ2部では、得点王とアシスト王の二冠を達成し、チームの1部復帰の原動力となった。

小学3年生のころからサッカーを始め、クラブチーム・サンズ甲佐でサッカーの楽しさを知ったという一村選手。「ゴールを決めたときの達成感やその喜びを仲間と分かち合うことの素晴らしさを学びました」と笑みをみせる。その後は、全国高校サッカー選手権大会出場常連校でもある県立大津高校に進学。厳しい練習やポジション争いを戦い抜き、スキルを磨き上げた。同校3年生のときに、第100回全国高校サッカー選手権大会に出場。準々決勝で得点を決めるなど、中心選手としてチームの準優勝に大きく貢献した。「高校でのポジション争いや厳しい練習にもまれた経験が、今の自分の力になっています」と振り返る。

「プロ」が視野に入ってきた大学でも、サッカー部のレギュラーとして活躍。「大学では、誰にも負けないスピード、相手とのぶつかり合いに負けないフィジカルづくりにも力を入れました」と振り返る。しかし、プロ入りを目指している中で、調子が出なかったり、試合に出られなかったりと苦しんだ時期もあったという。「ミスを引きずり、プレーに影響が出てしまうこともありました。しかし、プロになるには『それでは駄目だ』と自分自身を奮い立たせ、自分のプレイを取り戻したとメンタルも大きな成長を遂げた。

その成長が実り、今回加入した「奈良クラブ」は、今の自分のサッカーのやり方と似ていたことが、決め手の1つとなったという。「ポジションの型が決まっているので、自分のプレーに集中できる」と魅力を語る一村選手。高い技術と戦術が必要とされる世界。自身の武器であるスピードを活かしたプレーで、どんな結果を残していくか、期待は高まるばかりだ。

高校では寮生活、大学では一人暮らしと、早くから地元・甲佐を離れ、サッカーを続けてきた一村選手。今度は遠く離れた奈良で、Jリーガーとしての新しい幕が開ける。「家族や友人と離れるのは寂しいですが、不安はありません。プロ入りを喜んでくれたみんなに恩返しをしたい」と意気込む一村選手。「ぜひ多くの人に自分のプレーを見てほしいです。応援よろしくお願いします」とプロの舞台での活躍を誓い、夢と希望を追い続ける。

発行 甲佐町
発行人 甲佐町長 甲斐高士
編集 企画課

TEL 096-234-1111（代表）
FAX 096-234-3964
URL https://www.town.kosa.lg.jp/

UD FONT by MORISAWA